

パインブリッジ米国ライジングスター
好利回り債券ファンド 2018-02
(限定追加型・為替ヘッジあり・早期償還条項付)
愛称: ライジングスター 18-02
追加型投信/海外/債券

受益者用資料

月次レポート
2020年2月号
(2020年2月28日現在)

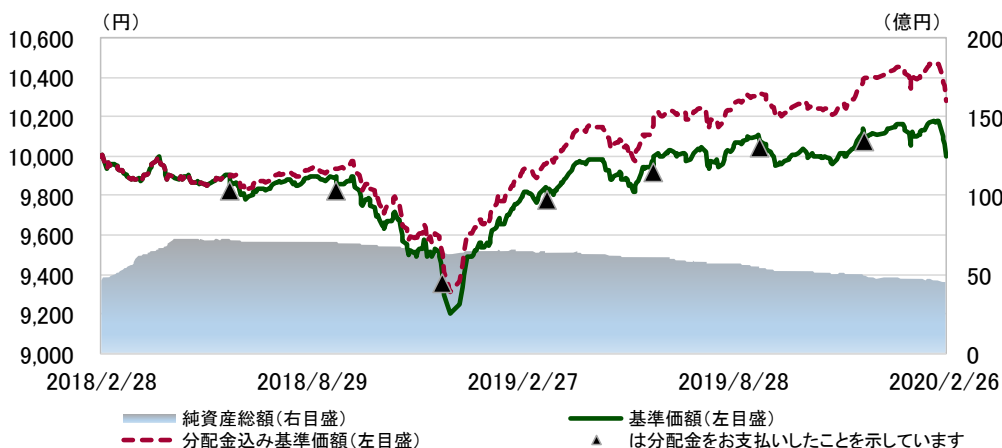
ファンドの特色

- 1 パインブリッジ米国フォーカス・ハイイールド債券マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通じて、米国の企業が発行する米ドル建の好利回り債券を主要投資対象とします。
- 2 2021年2月26日以降、基準価額(支払済の収益分配金を含みます。)が11,000円以上となった場合には、実質的に保有している好利回り債券を売却し安定運用に切り替え、速やかに繰上償還(早期償還)を行います。
- 3 実質組入れの外貨建資産については、為替変動リスクを低減させるため、原則として為替ヘッジを行います。
- 4 マザーファンドの運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー(PineBridge Investments LLC)に外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
- 5 年4回(3・6・9・12月の各20日、休業日の場合は翌営業日)決算を行い、利子/配当等収益(インカム収入)を中心に分配を行います。なお、将来の分配金が保証されているものではなく、分配対象額が少額の場合等、分配を行わないこともあります。

ファンドデータ

設 定 日	2018年2月28日		
償 還 日	2023年2月28日		
決 算 日	3、6、9、12月の各20日(休業日の場合は翌営業日)		
基 準 価 額 ①	9,996 (円)	純 資 産 総 額	45 (億円)
実 質 為 替 ヘ ッ ジ 比 率	99.2 %	実 質 組 入 比 率	97.7 %

基準価額・純資産総額の推移(2018/2/28~2020/2/28)



騰落率

	騰落率
過去1カ月	-1.1%
過去3カ月	0.2%
過去6カ月	0.1%
過去1年	3.6%
過去3年	-
設定来	2.8%

* 上記の「分配金込み基準価額」は過去に支払った分配金を再投資したと仮定して計算していますので、実際の基準価額とは異なります。なお、再投資する際に税金は考慮していません。基準価額は信託報酬(年1.33%+消費税)控除後のものです。

※騰落率は分配金込み基準価額を用いて計算しています。

分配の実績(1万口あたり、課税前)

2018/6/20	2018/9/20	2018/12/20	2019/3/20	2019/6/20	2019/9/20	2019/12/20	2020/3/23	直近8期合計	設定来合計②
40円	40円	40円	40円	40円	40円	40円	-	280円	280円

<ご参考> 基準価額+設定来分配金合計(①+②) 10,276円

* 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

■当資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって、ファンドの運用状況を受益者の皆様にお知らせする目的で作成された資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。■当資料の情報は原則として上記作成日現在のものですが、将来の成果や利回り等を保証するものではありません。また、将来の市場環境等の変動により当該運用方針が変更される場合があります。■投資信託はリスクを含む商品で、元本および利回りが保証された商品ではありません。運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■ファンドの仕組みやリスク等の詳細については、お申込みの際にお渡ししております投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

パインブリッジ米国ライジングスター
好利回り債券ファンド 2018-02
(限定追加型・為替ヘッジあり・早期償還条項付)
愛称:ライジングスター 18-02
追加型投信/海外/債券

受益者用資料

月次レポート
2020年2月号
(2020年2月28日現在)

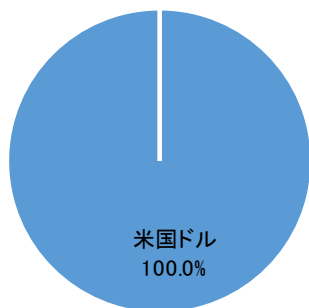
マザーファンドの組入状況

◆ポートフォリオの特性値

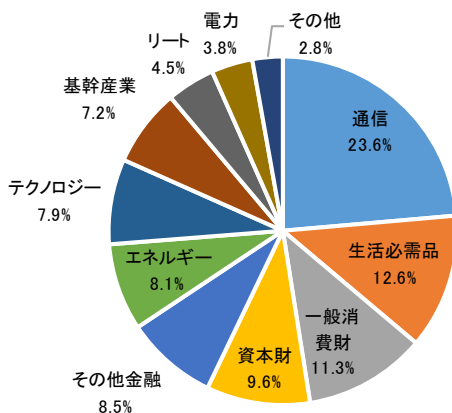
組入銘柄数	177銘柄	平均直接利回り	5.7%
平均単価(額面100に対して)	102.6	平均最終利回り	5.4%
平均デュレーション	3.8	平均格付	BB

* キャッシュ等は平均値算定データから除いています。上記の単価、デュレーション、利回り計算は、委託会社の見解に基づいて行っています。
平均格付とは、基準日時点で保有している債券にかかる信用格付けを加重平均したものであり、当ファンドにかかる信用格付けではありません。

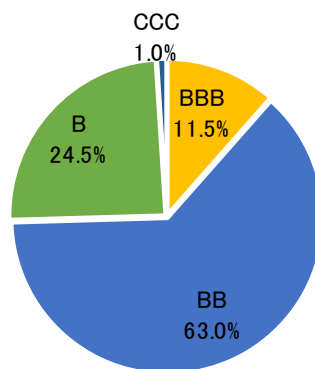
◆通貨別構成比



◆業種別構成比



◆格付別構成比



* 業種別構成比はブルームバーグ・バークレイズ指数の業種を基にパインブリッジ・インベストメンツが作成しています。
* 格付別構成比は、国際的な格付機関の格付を基に当社基準で算出しています。
* 構成比は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	業種	償還日 (繰上償還日)	格付	最終利回り	構成比率
① SPRINT CORP	米国ドル	通信	2023/9/15	B+	3.4%	2.6%
② CSC HOLDINGS INC	米国ドル	通信	2027/4/15	BB	4.6%	1.8%
③ NETFLIX INC	米国ドル	通信	2030/6/15	BB-	4.2%	1.7%
④ CENTURYLINK INC	米国ドル	通信	2024/4/1	BB	4.2%	1.7%
⑤ DELL INT LLC / EMC CORP	米国ドル	テクノロジー	2026/6/15	BBB-	3.0%	1.5%
⑥ HCA INC	米国ドル	生活必需品	2025/2/1	BB	3.1%	1.4%
⑦ ALTICE FINANCING SA	米国ドル	通信	2028/1/15	B	5.3%	1.4%
⑧ INGRAM MICRO INC	米国ドル	テクノロジー	2024/12/15	BBB-	4.1%	1.2%
⑨ BELO CORP	米国ドル	通信	2027/6/1	BB	5.1%	1.1%
⑩ SABRA HEALTH CARE LP	米国ドル	リート	2026/8/15	BBB-	3.3%	1.1%

* 格付は国際的な格付機関の格付を基に当社基準で算出しています。表記方法はS&Pに準拠しています。
* 構成比率は、基準日時点の組入銘柄の時価総額に対する評価額を三菱UFJ銀行仲値を用いて計算しています。
* 最終利回りは、ブルームバーグのデータを基に算出しています。

■ 当資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって、ファンドの運用状況を受益者の皆様にお知らせする目的で作成された資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。■ 当資料の情報は原則として上記作成日現在のものですが、将来の成果や利回り等を保証するものではありません。また、将来の市場環境等の変動により当該運用方針が変更される場合があります。■ 投資信託はリスクを含む商品で、元本および利回りが保証された商品ではありません。運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)は全て受益者の皆様に帰属します。■ 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■ ファンドの仕組みやリスク等の詳細については、お申込みの際にお渡ししております投資信託説明書(交付目録見書)でご確認ください。

パインブリッジ米国ライジングスター
好利回り債券ファンド 2018-02
(限定追加型・為替ヘッジあり・早期償還条項付)
愛称: ライジングスター 18-02
追加型投信/海外/債券

受益者用資料

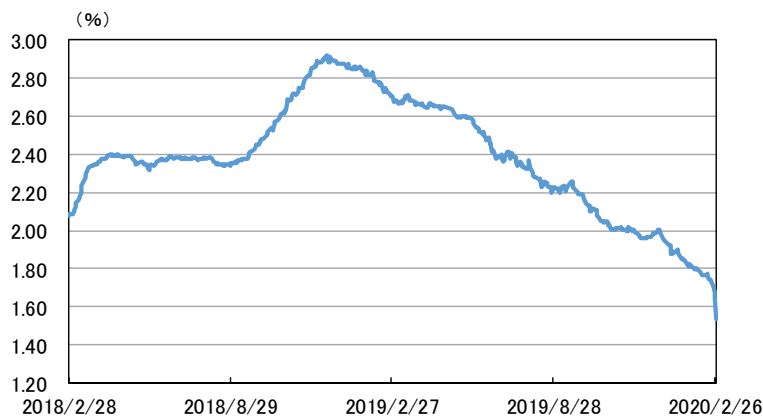
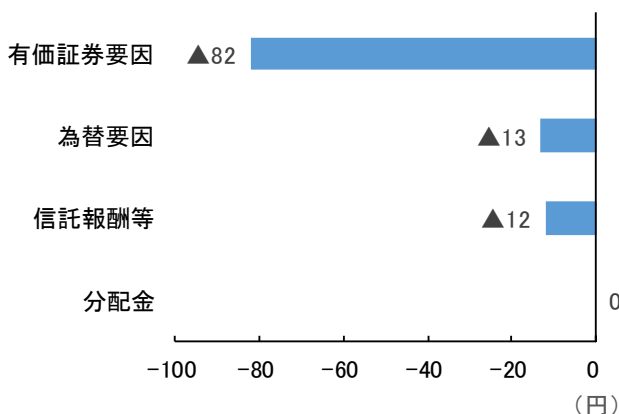
月次レポート
2020年2月号
(2020年2月28日現在)

基準価額の騰落額要因分析

<ご参考> 設定来の円と米ドルの金利差推移

月間の騰落額

-107 円



データ出所: ブルームバーク

* 上記は、円と米ドルの3か月短期金利の差分を用いて示しており、実際のヘッジコストとは異なります。また、実際のヘッジコストは、金利差だけでなく、市場における需給動向等によっても変動します。

* 上記の騰落額要因分析は、委託会社独自の見解に基づいて信託財産ベースで行った試算です。また、為替要因は主としてヘッジコスト等によるものです。

運用状況のご報告

<市場環境>

新型コロナウイルスの感染拡大懸念に起因する1月半ばの市場の下落を受け、2月上旬の時点では市場は経済的な影響は限定的との見方が大勢を占めていました。しかしながら、足もとのさらなる感染拡大により、世界的なパンデミックへの懸念が高まり、市場は全般的に売りに転じ、米国10年債利回りは記録的な低水準となりました。この新型コロナウイルスは、世界のGDP成長率を一時的に押し下げる可能性が高いものの、経済的な影響は短期的となり、追加の景気刺激策によってさらに限定的になると考えられるため、引き続き慎重ながらも楽観的な見方を維持しています。もし経済状況が悪化した場合も、米国好利回り債券市場のファンダメンタルズは底堅いことからデフォルト率は低水準を維持するものと考えます。

このような環境を背景に米国債利回りは2月も低下し、5年債は0.34%、10年債は0.32%低下しました。Bloomberg Barclays US HY Indexのオプション調整後スプレッド(OAS)は拡大し、月末時点では461となりました。

<運用報告>

月を通じて「パインブリッジ米国フォーカス・ハイイールド債券マザーファンド」への投資を高位に維持した結果、上記のような市場環境のもと、前月末に10,103円だった基準価額は、当月末は9,996円で終わりました。

<今後の見通しと運用方針>

相対的に緩やかながらも良好なマクロ経済環境となる中、米国は成長鈍化が見られる一方、本格的な景気後退ではないと考えられることから米国好利回り債券市場のファンダメンタルズは堅調に推移するものと見ています。企業の債務返済の負担が相対的に低いことが、デフォルト率の低下につながっており、この傾向は今後も続くことが予想されます。ファンダメンタルズは好調であるにもかかわらず、新型コロナウイルスの感染拡大は市場へのリスク要因となっています。景気後退が長期化する可能性は低いと考えているものの、景気減速による収益低下が米国好利回り債券市場に悪影響を及ぼす可能性があります。また、引受基準や格付基準の緩和はリスクを伴うとともに、米国の大統領選挙やサウジアラビア・ロシア間の石油価格競争などの地政学的リスクも顕在化しています。

市場の変動の高さはまだ初期段階にあると考えており、2020年第1四半期の終わりにはさらに変動が高まる局面も予想されます。FRB(米連邦準備制度理事会)はいつでも支援をする準備ができていないことを示唆していますが、金利の低下がサプライチェーンの動きを加速させることはないと考えます。新型コロナウイルスの感染拡大の懸念が市場のバリュエーションをリセットさせ、消費、旅行・レジャーセクターに何らかの投資機会を生み出していますが、2020年第2四半期には経済全体へのマイナスの影響は和らぐものと見ています。これらの市場環境を背景にポートフォリオを大きく変更することは想定していませんが、米国債利回りのさらなる低下には注意が必要です。

当ファンドは、主としてBB格を中心とした米ドル建の好利回り債券への投資を通じて、安定的な収益の確保と中長期的な信託財産の着実な成長を目指します。

■当資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって、ファンドの運用状況を受益者の皆様にお知らせする目的で作成された資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。■当資料の情報は原則として上記作成日現在のものですが、将来の成果や利回り等を保証するものではありません。また、将来の市場環境等の変動により当該運用方針が変更される場合があります。■投資信託はリスクを含む商品で、元本および利回りが保証された商品ではありません。運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■ファンドの仕組みやリスク等の詳細については、お申込みの際にお渡ししております投資信託説明書(交付目録見書)でご確認ください。

パインブリッジ米国ライジングスター
好利回り債券ファンド 2018-02
(限定追加型・為替ヘッジあり・早期償還条項付)
愛称: ライジングスター 18-02
追加型投信/海外/債券

受益者用資料

月次レポート
2020年2月号
(2020年2月28日現在)

リスクおよび留意点

当ファンドは、主として米ドル建の好利回り債券(ハイイールド債券)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、当ファンドは預貯金とは異なり、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。これらの運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属しますので、お申込みにあたりましては、当ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえ、お申込みください。当ファンドが有する主なリスク要因は、以下の通りです。

①価格変動リスク

当ファンドの主要投資対象である債券の価格は、一般に、経済・社会情勢、企業業績、発行体の信用状況、経営・財務状況ならびに市場の需給等の影響を受け変動します。組入銘柄の価格の下落は、当ファンドの基準価額を下落させる要因となります。

②為替変動リスク

外国為替相場は、金利変動、政治・経済情勢、需給等により変動します。当ファンドでは、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りますが、為替ヘッジを行うにあたり、ヘッジ対象通貨と円との金利差相当分のヘッジコストがかかります。金利差の縮小はヘッジコストの減少要因に、拡大はヘッジコストの増加要因になります。なお、ヘッジコストは需給要因等により変動することもあります。

③金利変動リスク

金利変動により債券価格が変動するリスクをいいます。一般的に金利が上昇した場合には債券価格は下落し、ファンドの基準価額を下げる要因となります。

④信用リスク

債券の発行体の財務状況の悪化等の理由による価格の下落、利子・元本・償還金の支払不能または債務不履行(デフォルト)等の影響を受け、基準価額が下落することがあります。なお、当ファンドが投資対象とする好利回り債券は、投資適格債券と比較して信用リスクが高くなる傾向があります。

⑤流動性リスク

組入有価証券等を売買しようとする場合に、市場の需給状況により、希望する時期および価格で売買できないリスクをいいます。この影響を受け、基準価額が下落することがあります。なお、当ファンドが投資対象とする好利回り債券は、市場における流動性が比較的低いため、当ファンドは流動性リスクの影響を相対的に大きく受ける可能性があります。

※収益分配金に関する留意点

収益分配は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて行う場合があります。したがって、収益分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。また、投資者の個別元本の状況によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。なお、収益分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金の支払いは純資産総額の減少につながり、基準価額の下落要因となります。計算期間中の運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

当ファンドのリスクは、上記に限定されるものではありません。

■当資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって、ファンドの運用状況を受益者の皆様にお知らせする目的で作成された資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。■当資料の情報は原則として上記作成日現在のものですが、将来の成果や利回り等を保証するものではありません。また、将来の市場環境等の変動により当該運用方針が変更される場合があります。■投資信託はリスクを含む商品で、元本および利回りが保証された商品ではありません。運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■ファンドの仕組みやリスク等の詳細については、お申込みの際にお渡ししております投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

パインブリッジ米国ライジングスター
好利回り債券ファンド 2018-02
(限定追加型・為替ヘッジあり・早期償還条項付)
愛称: ライジングスター 18-02
追加型投信/海外/債券

受益者用資料

月次レポート
2020年2月号
(2020年2月28日現在)

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

■購入時に直接ご負担いただく費用

- 購入時手数料: 当ファンドは購入の申込みを終了しています。

■換金時に直接ご負担いただく費用

- 換金時手数料: かかりません。
- 信託財産留保額: かかりません。

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

- 運用管理費用(信託報酬): 信託財産の純資産総額に年1.463%(税抜1.33%)の率を乗じて得た額とします。
- その他費用:
 - ・有価証券売買時の売買委託手数料等、資産を外国で保管する場合の保管費用等(運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
 - ・当ファンドの監査費用や印刷等費用(信託財産の純資産総額の年率0.11%(税抜年0.1%)を上限とします。)

※ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日と同じ日付の場合には換金申込の受付は行いません。

※費用等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

※当ファンドは、限定追加型の投資信託です。当ファンドの申込期間は2018年4月27日で終了しています。

投資信託に関する留意点

- 投資信託は元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。
- 投資信託は預金ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。
- 証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

委託会社、その他関係法人

委託会社: パインブリッジ・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第307号
加入協会/一般社団法人投資信託協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社

マザーファンドの投資顧問会社:

パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー

販売会社: 委託会社の指定する金融商品取引業者および登録金融機関

販売会社情報(銀行、証券会社別50音順)

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人	
			金融先物取引業協会	
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第43号	○	○
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○	○
株式会社三重銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第11号	○	
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○	

お問い合わせは・・・パインブリッジ・インベストメンツ株式会社

[https:// www.pinebridge.co.jp/](https://www.pinebridge.co.jp/) TEL: 03-5208-5858(営業日の9:00~17:00)

■当資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって、ファンドの運用状況を受益者の皆様にお知らせする目的で作成された資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。■当資料の情報は原則として上記作成日現在のものですが、将来の成果や利回り等を保証するものではありません。また、将来の市場環境等の変動により当該運用方針が変更される場合があります。■投資信託はリスクを含む商品で、元本および利回りが保証された商品ではありません。運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■ファンドの仕組みやリスク等の詳細については、お申込みの際にお渡ししております投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。